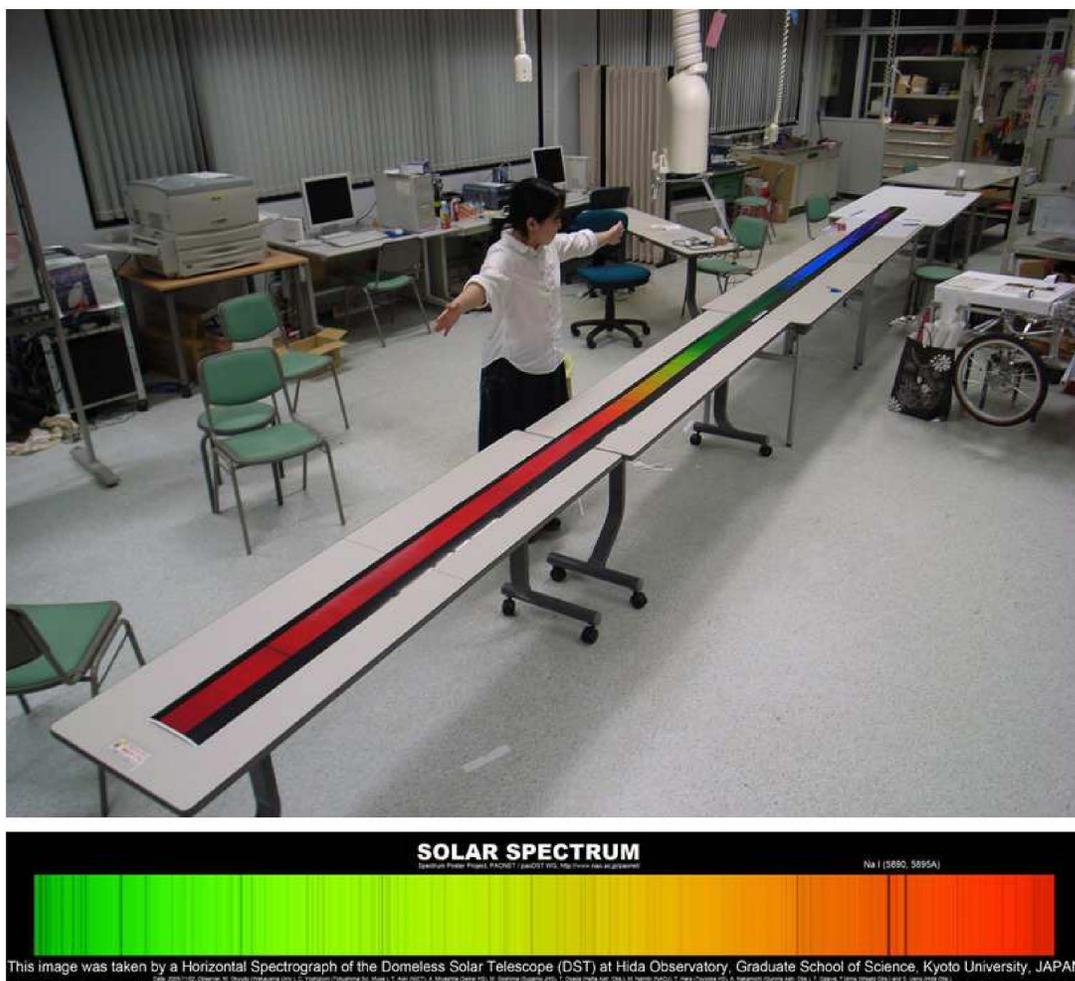


DST 水平分光器を使った太陽スペクトルポスターの制作

ここ数年、熱心な教員グループによってスペクトルを扱う天文教材の開発が盛んになっています。しかし、理科離れ(特に物理離れ)が深刻になっていることを考えると、スペクトル教材は子供たちから敬遠されやすいでしょう。そこで私たちは、まずスペクトルに興味を持ってもらうために、太陽スペクトルの美しく、そして大きなポスターを作り、教室や廊下に掲示してもらうことを提案しました。観測は、DSTの水平分光器のスクリーンを民生用のデジタルカメラで撮影する方法で行いました。できる限り自然な色調にするために、11人の観測メンバーが職場や個人で所有する数多くのデジタルカメラを持ち込み、採用するカメラを選定しました。取得できた波長域はA線~K線ですが、色や明るさを合わせながら手作業でつなぎ合わせていますので、現時点で完成したポスターはC線(H α)より短い側だけです。完成したポスターは、公開天文台ネットワーク(PAONET)のメンバーに公開し、様々な現場で教育実践を行ってまいります。それらの現場の意見を取り入れて最終版を完成させ、一般公開したいと思っています。



上は、制作した太陽スペクトルのポスター、長さは7.5mもある。下は、その一部。

(尾久土正己(和歌山大)、吉住千亜紀(徳島県立あすたむらんど)、青木哲郎(NICT)、
宮下敦(成蹊高)、五島正光(巣鴨中) 記)